

当院におけるNSTの新たな活動

○飯田恵利¹⁾、古野真未²⁾、齊藤智子²⁾、樋口裕子²⁾、岡実³⁾、山舗貴奈紗³⁾、板垣昭子⁴⁾、糸毛麻美⁵⁾、西脇亮⁶⁾、井本一郎⁷⁾

特定医療法人同心会 遠山病院 栄養課¹⁾、看護部²⁾、リハビリ³⁾、薬局⁴⁾、検査技師⁵⁾、外科⁶⁾、内科⁷⁾

【はじめに】当院NSTはH14年より活動を開始し、上記スタッフで構成している。活動は週1のカンファレンス、ラウンドを行い、対象者は月間約20名、NST加算は取得していない。

【背景】H28年7月にNST医師の異動に伴うメンバー交代、入院日数短縮を目指したチーム医療推進をふまえ、NSTは新たな活動を開始した。

【方法】①入院日数短縮のため入院時スクリーニングの見直しによる、入院時の早期NST対象者抽出、②入院中は検査値をふまえ管理栄養士が食事・輸液の栄養量、経管、緩和、嚥下障害、褥瘡の項目に、患者情報を加えたスクリーニングからNST介入提案のシステム化、③管理栄養士が週1の褥瘡回診参加による褥瘡有患者とリスク患者の情報共有、栄養量精査をNSTで確認する改善を行った。

【結果】9月の1ヵ月間で①②③から各1名の計3名の対象者を抽出し、その結果につき報告する。

【考察】NST対象者抽出をシステム化したことで、入院時～入院中でより必要性の高い患者の早期NST介入と、チーム同士の連携強化が図れたと考える。